

平成 22 年度第 8 回常務理事会議事録

日 時：平成 23 年 3 月 11 日（金）15：10～16：20

会 場：事務局 会議室

出席者：

理事長：吉村 泰典

副理事長：和氣 徳夫

理 事：岩下 光利、岡井 崇、吉川 史隆、小西 郁生、櫻木 範明、星合 昊、吉川 裕之

監 事：星 和彦

幹事長：矢野 哲

副幹事長：澤 倫太郎

幹 事：内田 聡子、梶山 広明、金内 優典、北澤 正文、久具 宏司、榊原 秀也、下平 和久、
高倉 聡、多賀谷 光、津田 尚武、永瀬 智、濱田 洋実、藤原 浩、増山 寿、
渡部 洋

総会議長：松岡 幸一郎

総会副議長：佐川 典正、清水 幸子

理事会内委員会委員長：海野 信也、竹下 俊行

事務局：荒木 信一、桜田 佳久、青野 秀雄

14：46 大きな地震（東北地方太平洋沖地震）があり、定刻より遅れて開始した。

15：10 理事長、副理事長、常務理事の総数 11 名のうち 9 名が出席し（落合副理事長、嘉村理事は欠席）定足数に達したため、吉村理事長が開会を宣言した。吉村理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長、和氣副理事長、岩下理事の計 3 名を選任し、これを承認した。

I. 平成 22 年度第 7 回常務理事会議事録（案）の確認 原案通り、承認した。

II. 業務担当理事報告並びに関連協議事項

1) 総 務（岩下光利理事）

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向

①山本豊作功労会員（長野）が 2 月 24 日に逝去された。（長野地方部会より 3 月 10 日報告受領）

(2) 各ブロックに依頼した役員候補者の選出、推薦状況について [資料:総務 1]

(3) 総会運営委員会委員、決算委員会委員候補者について [資料:総務 2]

(4) 総会議長団の推薦依頼について [資料:総務 3]

(5) 議決権行使書の追加修正について [資料:総務 3-1]

岩下理事「議決権行使書の賛否確認のための立会人 4 名について議決権行使書に明記することにした。」

吉村理事長「議決権行使書は記名式なので、特に第 8 議案の役員選出に係る賛否状況が立会人に分かっ
てしまうことについて問題はないか。」

松岡議長「立会人の守秘義務遵守を前提に考えることになる。賛否票数の開示請求には応える必要があ
るが、誰が賛成したかは開示不要である。立会人に分かってしまうことはやむを得ない。」

吉川(裕)理事「役員の賛否の部分は別の用紙にすることはできないのか。」

荒木事務局長「平岩先生は委任状と一体化させた方が良いとの意見である。」
佐川副議長「責任の重さを考えると、代議員の意思表示は記名式であってよいと思う。」
吉村理事長「それでは立会人が議決権行使書を確認するという進めたい。」
特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(6) 次期理事・監事会議の出席者について

中期計画検討WG 答申では、出席者は次期理事・次期監事・現職正副幹事長となっているが、平岩先生の出席をお願いするかどうかを含め、出席者を確認したい。

吉村理事長「平岩先生および総務主務幹事に出席していただくことにしたい。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(7) 第63回総会次第及び各会議の案内状送付先リストについて [資料:総務4、4-1]

吉村理事長「4月はビジネスミーティングでの記者会見を行わないこととし、6月理事会後の記者会見は行うということでよいか。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(8) 役員と代議員の兼務禁止ルールについて [資料:総務5]

荒木事務局長「現役員には4月1日以降に就任する新代議員と兼務は可能として4月総会の議決権行使書を提出してもらおう。4月総会で選任された役員は、実際に就任する6月総会までに速やかに代議員を辞任し、6月総会には新しい代議員が出席する。また6月で退任する現役員は6月までは代議員との兼務を可とする、とのルールとしたい。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(9) 理事会、常務理事会の議事録署名人について [資料:総務6]

新定款により、理事会の議事録署名人は出席した理事長と監事が記名押印するが、常務理事会については特に定めがなく、理事会で決めておく必要がある。

吉村理事長「常務理事会も理事会と同様にしていよいか。」

松岡議長「決めたらそれを常務理事会の運営内規に落とすのか。」

荒木事務局長「検討する。」

(10) 徳島大学の苛原先生より依頼のあった、GnRH アンタゴスト製剤の在宅自己注射に関する要望書を3月2日に厚生労働大臣、同省医政局長（医薬食品局長あてに出し直しの可能性）および日本医師会あてに提出した。 [資料:総務7]

(11) 荒木事務局長との事務局顧問契約および職員就業規則の改定について [資料:総務8]

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(12) 専門委員会

(イ) 生殖・内分泌委員会

①ホルモン補充療法ガイドライン頒布状況について

3月3日現在、入金済4,918冊、校費支払のため後払希望 4冊。

(ロ) 婦人科腫瘍委員会 特になし

(ハ) 周産期委員会 特になし

(ニ) 女性ヘルスケア委員会

①同委員会から、緊急避妊法の適正使用に関する指針普及版の製作許可依頼を受領した。 [資料:総務9]

②同委員会から、平成22年度事業報告書、平成23年度事業計画書の最終版を受領した。

[資料:総務9-1]

〔Ⅱ. 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

- ①厚生労働省医薬食品局審査管理課から、ノルレボ錠 0.75mg 適正使用への協力依頼があった。HP および機関誌に掲載して会員への周知を図りたい。〔資料:総務 9-2〕
- ②厚生労働省健康局結核感染症課および医薬食品局血液対策課より、子宮頸がんワクチンの供給不足への対応方針が各都道府県あてに通知された。〔資料:総務 9-3〕

ワクチン関連新聞記事 〔資料:総務 9-4〕

- 3月5日付 朝日新聞記事「子宮頸がんワクチン 接種に遅れ」「2つのワクチン接種を見合わせ」
3月8日付 毎日新聞記事「子宮頸がんワクチン 2回目以降接種を優先」

〔Ⅲ. 関連団体〕

(1) 日本医学会

日本医学会を通じて、厚生労働省医政局研究開発振興課がとりまとめた「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の疑義解釈について」の周知依頼があった。HP および機関誌に掲載して会員への周知を図りたい。〔資料:総務 10〕

(2) 日本病理学会

同学会から、「癌取り扱い規約の印税の支払いについては分担したページ数に按分した各学会への印税の支払いが望ましい」として、本学会が代表して受領していた子宮体癌取り扱い規約と絨毛性疾患取り扱い規約の印税の受取り方式の変更の申し入れがあった。〔資料:総務 11〕

岩下理事「今までは本会が交通費や会議室などの事務費用などを負担していたので、印税も本会が受取っていた長年の経緯がある。」

吉村理事長「今後はそれぞれの学会で費用を払い、印税はきちんと按分するというので良いと思う。」特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(3) 日本肥満学会

同学会から、「肥満症診断基準2011」の産婦人科医療に関わる内容（乳癌と子宮内膜癌）についての確認依頼があり、婦人科腫瘍委員会に対応をお願いした。〔資料:総務 12〕

(4) 禁煙推進学術ネットワーク

2月に開催された第13回委員会の議事録が送付されてきた。〔資料:総務 13〕

岩下理事「同ネットワークの会議は通常、名古屋で行われており本会からは出席していなかった。今回は妊婦へのニコチン製剤の処方などの話も上がっており、担当を決めた方が良い。」

吉村理事長「お忙しいとは思いますが、梶山先生に出席をお願いしたい。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

〔Ⅳ. その他〕

- (1) 特定非営利活動法人 東京がん化学療法研究会から、第12回臨床腫瘍夏期セミナー（開催日:平成23年7月14、15日、開催場所:東商ホール）の後援名義許可依頼を受領した。経済的負担および事業内容に問題はなく、これを応諾した。

2) 会 計 (和氣徳夫副理事長) 特になし

3) 学 術 (吉川裕之理事)

(1) 学術委員会 特になし

(2) プログラム委員会関連 特になし

(3) ガイドライン—産科編

- ①「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008」頒布状況について
3月2日現在、入金済 11,921 冊、後払希望 0 冊。

(4) ガイドライン—婦人科外来編

3月3日現在、入金済 6,031 冊、後払希望 230 冊。

吉川(裕)理事「増刷のタイミングを検討している。」

(5) 長沼会員から、ガイドラインおよび機関誌の PDF 化の要望が提出された。[資料：学術 1]

吉川(裕)理事「専攻医の教育プログラムについて、54 項目で全領域をカバーできることは確認できた。ただ内容面ではまだ意見が分かれている。専門医制度委員会でプログラムの制度整備を行い、ここで決まった項目をもとに第 64 回、第 65 回と学術集会長との段階で具体的に進めて行くことでどうか。」

吉村理事「第 64 回学術集会から専攻医への教育プログラムを実施することは決まっている。やり方については専門医制度委員会で方向を決めて進めてもらいたい。これはどの小委員会が担うのか。」

櫻木理事「5 月の専門医制度委員会において全体で議論をする必要がある。」

吉村理事「その場で、今後どのような形で方向を決めていくのか、点数制をどうするかなどの課題を提案していただきたい。次期専門医制度委員会のテーマとして申し送りをお願いしたい。」

吉川(裕)理事「本件は学術集会長ベースで順次実施するが、正式プログラムとしてはその制度整備を並行して進めるということである。」

4) 編集 (岡井 崇理事)

(1) 会議開催

- ①3月11日に和文誌編集会議と JOGR 全体編集会議を開催した。

(2) 英文機関誌 (JOGR) 投稿状況：2011 年投稿分 (平成 23 年 2 月末現在)

投稿数 166 編 (うち Accept 3 編、Reject 42 編、Withdrawn/Unsubmitted 24 編、Under Revision 11 編、Under Review 82 編、Pending 4 編、Expired 0 編)

岡井理事「ベストレビュー賞の選考を行い、3 名の先生を推薦した。さらにこれには至らなかったが年間 5 編以上のレビューをいただいた先生にはアプリーションとして賞状等を送りたい。また COI のディスクロについて、JOGR では「COI 状態」については「potential COI」と訳す。また問題があるケースは、コンプライアンス委員会で決めた申告書を出し、論文の最後にもその旨を書くことを編集委員会で決定した。」

和氣副理事長「地方自治体からの研究費などは別と考えてよいか。」

岡井理事「コンプライアンス委員会で必要であると決めてはいないので、別の扱いである。」

5) 渉外 (落合和徳副理事長欠席につき、矢野幹事長)

(1) 会議開催

- ①第 63 回学術講演会期間中、4 月 15 日に ACOG、SOGC 役員とのミーティングを開催の予定である。(SOGC 13:30-14:15、ACOG 14:30-15:15)

なお震災により第 63 回学術講演会が延期となったため、上記ミーティングは中止となった。

[FIGO 関係]

- (1) 2012 FIGO World Congress における Awards Selection について

矢野幹事長「本会では FIGO 役員を長期にわたり勤めた先生がおらず、推薦を見送りたい。」

[SOGC 関係]

- (1) Exchange Program 若手医師派遣人数について

矢野幹事長「カナダへの派遣は若手3名と津田先生に願います。一方カナダからの派遣は1名となる旨、SOGCから通知があった。」

6) 社 保 (星合 昊理事)

- (1) 疑義解釈委員会より平成22年度第4回供給停止予定品目について検討依頼を受領し、本会理事および社保委員による検討結果を回答した。
- (2) 3月5日丸の内東商ホールにて外保連主催による市民公開講座が開催された。
- (3) 内保連より、診療報酬点数表への「特定内科系診療(仮称)」新設要望について検討依頼を受領した。

7) 専門医制度 (櫻木範明理事)

- (1) 日本専門医制評価・認定機構
3月9日に「厚生労働省医療関係者研究費等補助金専門医制度推進支援事業報告会」が開催され櫻木委員長が出席した。

8) 倫理委員会 (嘉村敏治委員長欠席につき、津田主務幹事)

- (1) 本会の見解に基づく諸登録(平成23年2月28日)
 - ①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録:45 研究
 - ②体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録:589 施設
 - ③ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録:589 施設
 - ④顕微授精に関する登録:507 施設
 - ⑤非配偶者間人工授精に関する登録:15 施設
- (2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について
平成23年3月1日現在申請213例[承認189例、非承認4例、審査対象外18例、取り下げ1例、審査中6例、照会中1例]
- (3) 会議開催
 - ①第3回登録・調査小委員会を3月23日に開催する。
 - ②平成22年度第5回着床前診断審査小委員会を集合または通信にて3月15日に開催する予定である。
 - ③平成22年度第4回倫理委員会を4月1日に開催する予定である。
- (4) 性同一性障害夫婦にAIDを行う前提となる、AIDで生じた親子関係の法的な解釈について、法務省からの回答があり、2月28日付で会員への通知とともに学会ホームページに掲載し、15のAID登録施設に対しても文書を発出した。機関誌にも掲載予定である。[資料:倫理1]
吉村理事長「この資料を事務局から日本生殖医学会にも送っておいてほしい。」

(5) 倫理委員会関連新聞記事 [資料:倫理2]

- 2月27日付 朝日、毎日、産経新聞記事 「男性に性別変えて結婚 人工受精容認」
2月27日付 日経新聞記事 「胎児の病 超音波で判明の例 検査前、妊婦に説明を」

9) 教 育 (小西郁生理事)

- (1) 会議開催
 - ①3月11日2011年ACOGおよびSOGC派遣予定者に対する打合会を開催する予定である。
 - ②3月11日ならびに4月15日に「第3回若手医師企画」打合会を開催する予定である。なお震災のため、上記打合会は当初の開催予定日を延期して実施されることとなった。

(2) 「産婦人科研修の必修知識 2007」頒布状況について
3月3日現在、入金済4,357冊、校費支払のため後払希望 2冊。

(3) スプリングフォーラム開催 [資料：教育1]

3月5日6日の両日にわたって京都において「産婦人科スプリングフォーラム」を開催した。

小西理事「若手を教育する立場の先生方なので、同じ悩みを共有してモチベーションが高まったなど前向きな感想も多かった。参加者の意見・感想などを整理して、今後の方針については別途お話ししたいと考えている。」

吉村理事長「若いうちは大学を跨いだ横のつながりの機会は少ないので、良い企画だと思う。ぜひとも次年度のテーマとして進めてもらいたい。」

(4) 第3回若手医師企画について

第63回学術講演会1日目の4月15日15時30分より「第3回若手医師企画」が開催される。理事・幹事の皆様のご来場とともに各教室若手の先生方のご参加に配慮願いたい。

なお震災による第63回学術講演会の延期に伴い、上記企画も延期して実施されることになった。

10) 地方連絡委員会 (和氣徳夫副理事長)

(1) 各都道府県組織に対する業務委託料の取扱い及び業務委託契約書の改定について
[資料：地方連絡1、2]

和氣副理事長「業務委託料は現在支払っている集金手数料を改定して導入したい。現状地方組織への支払いは会員一人あたり500円となっているが、これを700円に増額する。代議員選挙を行うための費用を上乗せしたものであるが、これにより本会の支出は300万円ほど増える。」

吉川(史)理事「業務委託料の支払は90%以上の納入率を条件としているが、その理由はなぜか。」

桜田事務局次長「納入率向上のインセンティブを効かせるためである。」

特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

II. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

1) 広報委員会 (吉川史隆委員長)

(1) 会議開催

5月20日の常務理事会開始前に広報委員会・情報処理小委員会合同委員会を開催する予定である。

(2) JOB-NET 公募情報について [資料：広報1]

(3) ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について [資料：広報2]

(4) ホームページアクセス状況について [資料：広報3]

吉川(史)理事「ニュースレターが出来たので、ご意見あればお願いしたい。」

2) コンプライアンス委員会 (平松祐司委員長欠席につき、澤副幹事長)

(1) 専門委員会委員および小委員会委員からのCOI自己申告書について

自己申告書は、今年度スタートの女性ヘルスケア委員会を除き、既に提出されている。本年6月に委員交替となるので、その時点で女性ヘルスケア委員会委員も含めて自己申告書の提出を求めたい。特に異議なく、本件は全会一致で承認された。

(2) コンプライアンス委員会関連新聞記事 [資料：コンプライアンス1]

3月3日付 朝日、日経新聞記事 「医師へ資金提供 製薬会社が公開 協会、透明性確保へ指針」

3) 医療改革委員会（海野信也委員長）

(1) 出産育児一時金支給取り扱いについて

健康保険法第106条に係る保険者間調整についての調整が終了したら厚生労働省保険局保険課から通達を出す旨の通知があった。〔資料：医療改革1〕

4) 男女共同参画委員会（竹下俊行委員長）

(1) 女性の健康週間について

① イベント報告〔資料：男女共同参画1〕

② 広報活動報告〔資料：男女共同参画2〕

矢野幹事長「外保連と共同して行ったイベントはあったのか。」

清水副委員長「外保連が昨年から市民公開講座を始めたので相互に情報は流すということにした。外保連のイベントの出席者は少なかったようだ。なお女性の健康週間との共催とはしていない。」

(2) 地方部会担当公開講座について〔資料：男女共同参画3〕

清水副委員長「千葉地方部会の講演では聴覚障害の方の出席希望があり、手話通訳を入れて行った。」

5) 若手育成委員会（齋藤滋委員長欠席につき、永瀬主務幹事）

① 4月16日に第5回産婦人科サマースクールに関する打合会を大阪国際会議場において開催する予定である。

なお震災により、上記打合会は当初の開催予定日を延期して実施された。

Ⅲ.その他 特になし

大地震のため、予定終了時刻より早目に終了した。

資 料

1. 第7回常務理事会議事録
2. 第8回常務理事会業務担当理事報告並びに関連協議事項予定内容
- 総務1：役員候補者の選出、推薦状況
- 総務2：総会運営委員会委員、決算委員会委員候補者
- 総務3：総会議長団の選出について
- 総務3-1：議決権行使書および委任状
- 総務4：第63回総会次第及び各会議の案内状送付先リスト
- 総務4-1：第63回学術講演会におけるビジネス会議等日程表
- 総務5：改選期における理事・監事の議決権行使について
- 総務6：公益社団法人定款（第7章理事会の一部）
- 総務7：GnRH アンタゴスト製剤の在宅自己注射に関する要望書
- 総務8：事務局顧問契約書
- 総務9：緊急避妊法の適正使用に関する指針普及版の製作許可について
- 総務9-1：女性ヘルスケア委員会 平成22年度事業報告書
- 総務9-2：ノルレボ錠0.75mg 適正使用への協力依頼について
- 総務9-3：子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の円滑な実施について
- 総務9-4：ワクチン関連新聞記事
- 総務10：ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の疑義解釈について
- 総務11：日本病理学会からの申し入れ
- 総務12：日本肥満学会からの「肥満症診断基準2011」に対する依頼
- 総務13：禁煙推進学術ネットワーク第13回委員会議事録
- 学術1：長沼会員からの要望書
- 倫理1：性同一性障害夫婦への非配偶者間人工授精について
- 倫理2：倫理委員会関連新聞記事
- 教育1：2011年スプリングフォーラムスケジュール
- 地方連絡1：各都道府県組織との業務委託契約書新旧対照表
- 地方連絡2：各都道府県組織への業務委託料案
- 広報1：JSOG-JOBNET 事業報告
- 広報2：ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について
- 広報3：JSOG ホームページアクセス状況
- コンプライアンス1：コンプライアンス委員会関連新聞記事
- 医療改革1：健康保険法第106条の規定に基づく出産育児一時金の支給の取扱いについて
- 男女共同1：平成22年度女性の健康週間イベント報告
- 男女共同2：平成22年度女性の健康週間広報活動報告
- 男女共同3：地方部会担当公開講座一覧

以 上